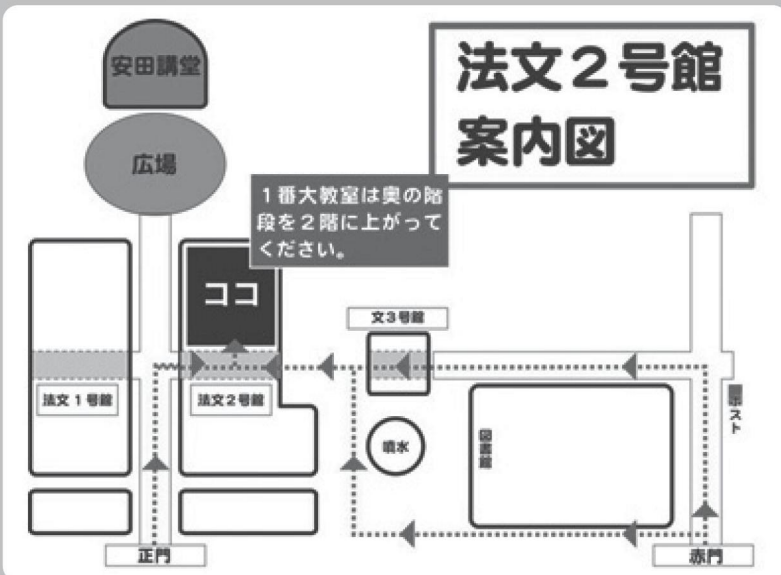


会場への地図



最寄駅

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線、大江戸線）

東大前駅（地下鉄南北線）

徒歩 10 分

問い合わせ先

東京大学文学部

現代文芸論研究室

電話・ファクス：03-5841-7955

ゲスト・プロフィール



オルガ・トカルチュク (Olga Tokarczuk) 作家。ワルシャワ大学卒業後、心理療養士として勤務するかたわら執筆活動を始める。1993年のデビュー以降、国内外で数多くの文学賞を受賞し、現代ポーランドを代表する作家のひとりとなる。2008年、長篇小説『逃亡派』で、ポーランドで最も権威のある文学賞 Nike 賞を受賞。代表作に『昼の家、夜の家』、『逃亡派』（近刊）（いずれも小椋彩訳、白水社）など。



ミハル・アイヴァス (Michal Ajvaz) 作家、詩人、哲学者。プラハのカレル大学卒業後、様々な職を転々とし、1989年、詩集『ホテル・インターコンチネンタルの殺人』でデビュー。以後、幻想的かつ思索的な小説を次々と発表し、『黄金時代』の英訳は Amazon.com の SF・ファンタジー部門（2010）で1位を獲得。代表作に『もうひとつの街』（阿部賢一訳、河出書房新社）など。哲学的な論考として、デリダ、フッサールに関する著作もある。



山崎佳代子 (Kayoko Yamazaki) 詩人、翻訳家、ベオグラード大学教授。静岡県生まれ。1980年代よりベオグラード在住。2003年、ベオグラード大学で博士号取得（博士論文「1920年代日本アヴァンギャルド詩の発掘——セルビア文学との比較考察」）。詩集『鳥のために』『薔薇、見知らぬ国』『産砂 RODINA』『秘やかな朝』『みをはやみ』（書肆山田）、訳書にダニロ・キシユ『庭、灰』（河出書房新社）など。セルビア語でも著書・詩集がある。

関連イベント

オルガ・トカルチュク講演会「文学にあらわれた《中欧》という名の幽霊（ファントム）：中欧文学は存在するか」

日時：2013年3月1日（金）17時～19時

会場：立教大学池袋キャンパス

太刀川記念館3階多目的ホール

オルガ・トカルチュク講演会＋朗読の夕べ（『昼の家、夜の家』『逃亡派』より、ポーランド語および日本語）

日時：2013年3月3日（日）16時半～18時

会場：同志社大学室町キャンパス 寒梅館6階大会議室

平成24年度国際研究集会「グローバル化時代の世界文学と日本文学—新たなカノンを求めて—」

日時：2013年3月3日（日）・4日（月）

会場：東京大学本郷キャンパス 山上会館

主催：東京大学大学院人文社会系研究科・文学部

現代文芸論研究室

詳細は、<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~sekaibun/Home.html>

を参照。

ミハル・アイヴァス × 高野史緒 トークイベント

『ファンタスティックの可能性～チェコと日本の文学最前線～』

日時：2013年3月5日（火）18時半～

会場：MARUZEN&ジュンク堂書店 渋谷店7階（要予約）

問い合わせ先：MARUZEN&ジュンク堂書店 渋谷店

tel：03-5456-2111